

2019・小学校高学年「マンザナの風にのせて」

□主人公のマナミとマナミの家族は、1942年日系人移民としてアメリカで暮らしていました。

□ハワイに20万人、アメリカ本土に18万人の日本人が、厳しい労働環境の中、一生懸命に働いていました。

□私は生きるためにアメリカで働いていた日系人移民について知りませんでした。/はじめて知りました。

アメリカは、興味がありました/いつか行ってみたいと思っていました/旅行で行ったことがあります。

私のアメリカに対する印象は、です。

でも、もし私が戦争中にアメリカで暮らすとしたら、

だと思いました。/考えました。/感じました。

□マナミの なところが 理解できる/応援できる/私と似ている と思いました。

□マナミのようにアメリカで生まれて、アメリカで育った日本人がいるということを知って、

と思いました。

□もし私がマナミたちのように「強制的退去」させられたら、

するだろう/しないだろう と思いました。

□大切な家族だった愛犬のトモとはなればなれになって、私がマナミなら

だと思いました。/考えました。/感じました。

□マナミにとって愛犬のトモはとても大切な だと思いました。

私は（大切なもののエピソード/大切なものをなくした出来事） ということがあり、

マナミの気持ちが自分のことのように感じました/よくわかりました/少しだけ理解できました/共感できました。

□私が一番好きな/共感した/気に入った 登場人物は、 です。

なところが、好きになりました/共感できました/気に入りました。

□私が一番好きな/感動した/悲しかった/怒りを感じた/おどろいた場面/言葉は、 です。

なぜなら だからです。

□この本を読む前は、戦争/日系人/強制収容所について考えたことがありませんでした。

今は、 ではないかと思いました。/考えました。/感じました。

□この本を読むことで、マナミのような日系アメリカ人の戦争について、少しだけ知ることができました。

だからこれからは、戦争/世界中にいる日本人や日系人/生きるために過酷な環境でがんばる移民について

だと思うように/考えるようになりました。